

ギターコード変換の使い方

Ver.2.0 (iPhone)
Ver.2.0.1 (Android)

例を示して説明します。

1. 各部の名称

各部の名称を下の図に示します。

入力・変換コード表示

難易度表示

移調前コード

移調度表示

カポ位置表示

移調後コード表示

自動検索

マニュアル検索 & 入力

上

下

1文字削除

オールクリア

基本コード表示ボタン

カスタマイズボタン

ファイルボタン

難易度表示窓

メジャーコード列

セブンコード列

マイナーコード列

● : 難しい

● : やや難しい

● : 易しい

■ : 未使用

ホームポジション(移調度[0])

”移調前と移調後のコードが同じ位置”がホームポジションで、**all Clear** をタップするとホームポジションで全ての窓が閉じた状態に戻ります。同時にモードもマニュアルモードに戻り、コード入力できる状態になります。入力・変換結果表示の内容もクリアされます。上の写真の状態です。

2. 楽譜の準備

押さえられないコードがあったり、演奏すると音が高すぎたり低すぎたりして歌えない、など変換したい楽譜を準備する。

以下に楽譜例(ギターコードを弾き易く:PDF)を示します。

変換前

ギターコードを弾き易く

C#m

コードが難しいから

F#m

弾けないじゃなくて

Ab7

簡単なコードにして

C#7

弾こうじゃないか

B7

今はまだまだ

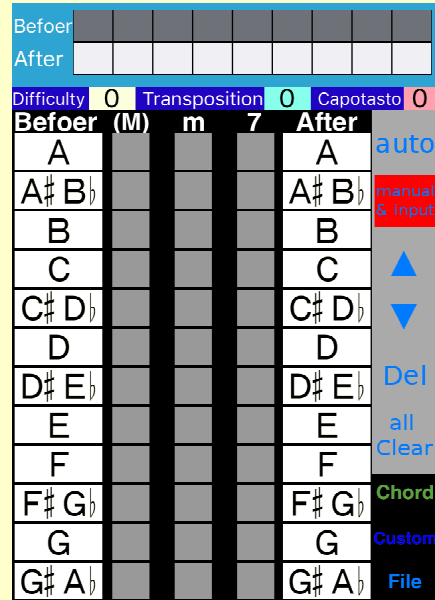
A

コードを弾き易く

3. 初期状態 (ホームポジション)

全ての窓が閉じて、カポ位置が0の状態。

all Clear ボタンをタップするとこの状態になります。
(写真1参照)



[写真1]

4. 変換したいコードを入力する

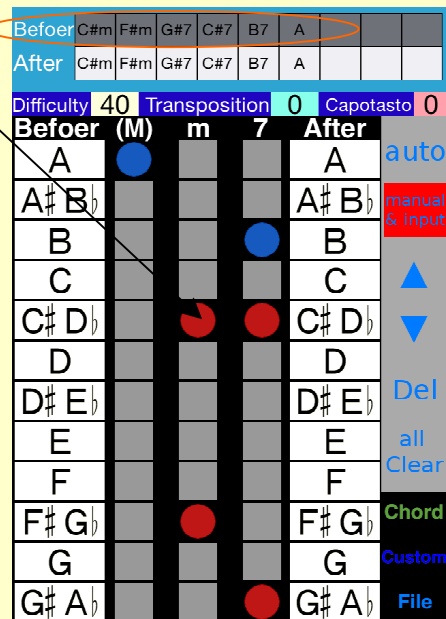
変換したい楽譜で使用されている全てのコードを入力する。
変換するコードのメジャー:(M)、マイナー:m、セブン:7の別で
縦の列を選び、A、A#、B、C、...G#、の別で行を選ぶ。
行と列の合った窓をタップして入力する。

- ① C#m mの列のC#行の窓をタップする。
- ② F#m mの列のF#行の窓をタップする。
- ③ Ab7 7の列のAb行の窓をタップする。
- ④ C#7 7の列のC#行の窓をタップする。
- ⑤ B7 7の列のB行の窓をタップする。
- ⑥ A (M)の列のA行の窓をタップする。

入力・変換結果表示の上段に入力したコードが表示される。

まちがえて入力した場合は **Del** で1文字削除できる。

50コードまで入力可能で、左右にスクロールできる。
bのコードは#で表示されます。Ab7 → G#7
(写真2参照)



[写真2]

5. 弾き易いコードを探す

5.1 モードで弾き易いコードを探す

4. の状態から ボタンをタップする。
1番弾きやすいコードが入力・変換結果表示の下段に表示される。(写真3参照)
(同じ難易度の場合はカポ位置の小さいもの)

をタップすると2番目に引きやすいコードが入力・変換結果表示下段に表示される。
(写真4参照)












Before	C#m	F#m	G#7	C#7	B7	A		
After	Am	Dm	E7	A7	G7	F		
Difficulty	0	Transposition	-4	Capotasto	4			
Before (M)	m	7	After	auto				
A	●		F					
A#B _b			F#G _b	manual & input				
B			G					
C			G#A _b					
C#D _b		●	A					
D			A#B _b					
D#E _b			B					
E			C	all Clear				
F			C#D _b					
F#G _b		●	D	Chord				
G			D#E _b	Custom				
G#A _b			E	File				

[写真3]

Before	C#m	F#m	G#7	C#7	B7	A		
After	Em	Am	B7	E7	D7	C		
Difficulty	0	Transposition	+3	Capotasto	9			
Before (M)	m	7	After	auto				
A	●		C					
A#B _b			C#D _b	manual & input				
B			D					
C			D#E _b					
C#D _b		●	E					
D			F					
D#E _b			F#G _b					
E			G	all Clear				
F			G#A _b					
F#G _b		●	A	Chord				
G			A#B _b	Custom				
G#A _b			B	File				

[写真4]

入力したオリジナルコードが入力・変換結果表示上段に
変換したコードが入力・変換結果表示下段に表示される。

- | | | |
|---|--|---------|
| ① | 4. の状態で開いた窓の下の色を見る。(写真2参照)
赤い丸が4ケあるので弾きにくいコードが4種類あることが分かる。 | カポ位置:0 |
| ② |  を1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が3ケあるので弾きにくいコードが3種類あることが分かる。 | カポ位置:1 |
| ③ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が1ケあるので弾きにくいコードが1種類あることが分かる。 | カポ位置:2 |
| ④ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が4ケあるので弾きにくいコードが4種類あることが分かる。 | カポ位置:3 |
| ⑤ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。(写真3参照) | カポ位置:4 |
| ⑥ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が5ケあるので弾きにくいコードが5種類あることが分かる。 | カポ位置:5 |
| ⑦ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が3ケあるので弾きにくいコードが3種類あることが分かる。 | カポ位置:6 |
| ⑧ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が3ケあるので弾きにくいコードが3種類あることが分かる。 | カポ位置:7 |
| ⑨ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が3ケあるので弾きにくいコードが3種類あることが分かる。 | カポ位置:8 |
| ⑩ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
全て青い丸で、全てのコードが弾きやすいことが分かる。(写真4参照) | カポ位置:9 |
| ⑪ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が6ケあるので弾きにくいコードが6種類あることが分かる。 | カポ位置:10 |
| ⑫ |  をもう1回タップして、開いた窓の下の色を見る。
赤い丸が2ケあるので弾きにくいコードが2種類あることが分かる。 | カポ位置:11 |

注:どの位置にしても赤い丸がある場合は全てを弾きやすく変換することができません。
赤の一番少ない変換を択んで、残った赤のコードを練習するしかありません。

6. コードを変換する

6. 1カポを使って変換前と同じ音程で演奏する場合

①5でさがした弾きやすいコードの組み合わせの中の、カポ位置の小さいものを選ぶ。

入力したオリジナルコードが入力・変換結果表示上段に変換したコードが下段に表示されている。

Before	C#m	F#m	G#7	C#7	B7	A			
After	Am	Dm	E7	A7	G7	F			
Difficulty	0	Transposition	-4	Capotasto	4				

②変換したコードに楽譜を書き換える。

変換後1

ギターコードを弾き易く

Am コードが難しいから	Dm 弾けないじゃなくて
E7 簡単なコードにして	A7 弾こうじゃないか
G7 今はまだまだ	F コードを弾き易く

③カポを4フレットに装着する。

④書き換えたコードで演奏する。

6. 2音程を変更して演奏する場合

①6. 1の変換をしてカポを装着せずに演奏すると、移調度表示窓の数字分、音程が変化する。

この場合-4度なので4度音程が低くなる。

②5. 2-⑩で見つけたコードの組み合わせ(写真4参照)に変更し、カポを装着せずに演奏すると、3度音程が高くなる。

Before	C#m	F#m	G#7	C#7	B7	A			
After	Em	Am	B7	E7	D7	C			
Difficulty	0	Transposition	+3	Capotasto	9				

変換後2

ギターコードを弾き易く

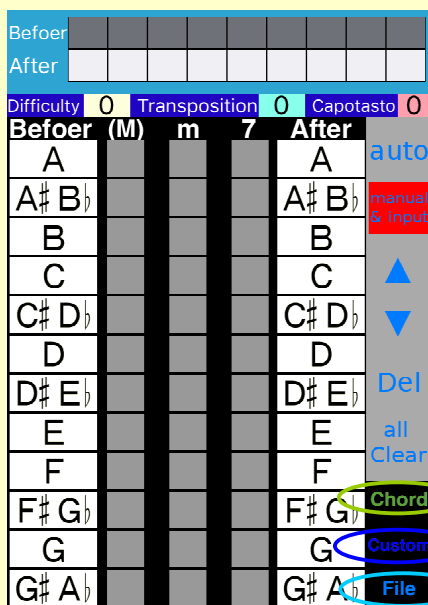
Em コードが難しいから	Am 弾けないじゃなくて
B7 簡単なコードにして	E7 弾こうじゃないか
D7 今はまだまだ	C コードを弾き易く

7. コードの弾き難さをカスタマイズする

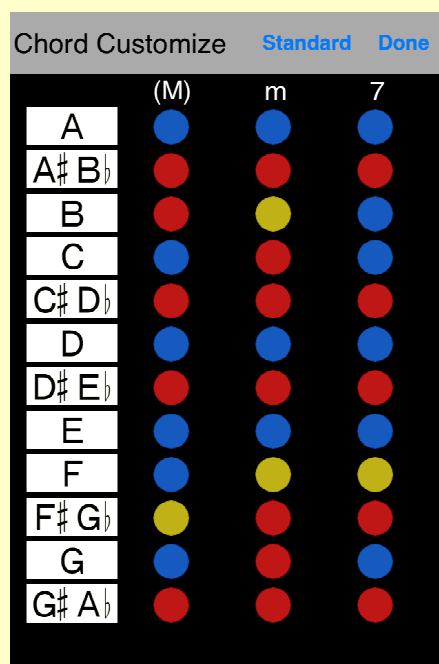
初期状態では一般的なコードの押さえ易さになっています。
 練習して上達した場合や、個人の得て不得手によって一般的なコードの押さえ易さと異なる場合
 カスタマイズボタンで、個人に合わせてカスタマイズできます。
 例えば、Bmは黄色(やや弾きにくい)になっていますが、うまく弾ける場合は青色に、
 まったく弾けない場合は赤にすることでより個人に合った変換ができます。

- ① **Custom** をタップする。(写真5参照)
- ② 変えたいコードの丸印をタップする。(写真6参照)
 (● → ● → ● → ● …に順番に変化します)
 例 Bmが確実に演奏できるようになった場合
 mの列の上から3番目のBの行の ● を ● にする。
- ③ カスタマイズ画面の **Done** をタップする。

(標準に戻したい時は **Standard** をタップする)



[写真5]

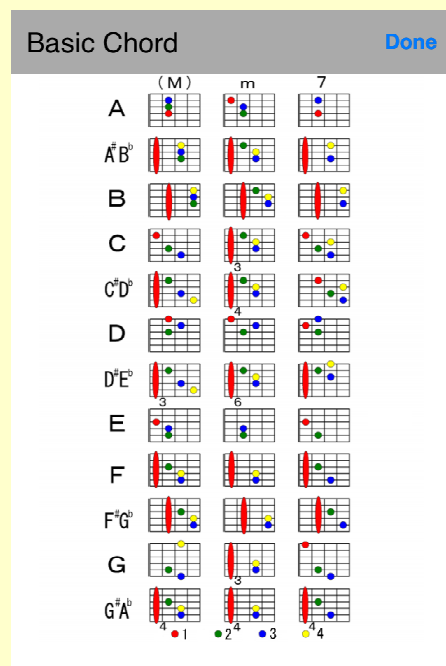


[写真6]

8. 基本コード表

基本コード表示ボタンをタップすると基本コード表が表示されます。

- ① **Chord** をタップする。(写真5参照)
- ② 基本コード表が表示されます。(写真7参照)



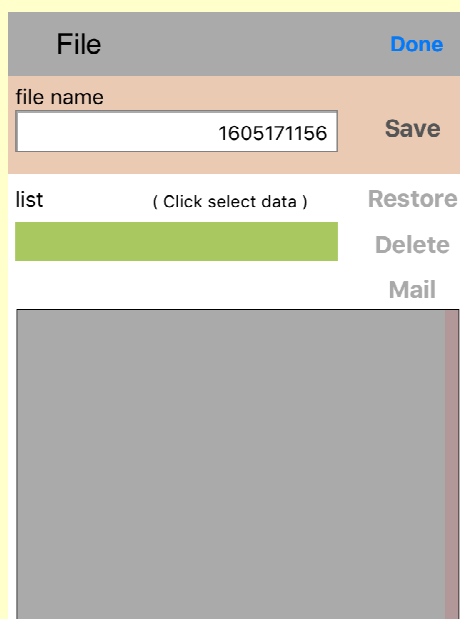
[写真7]

9. File

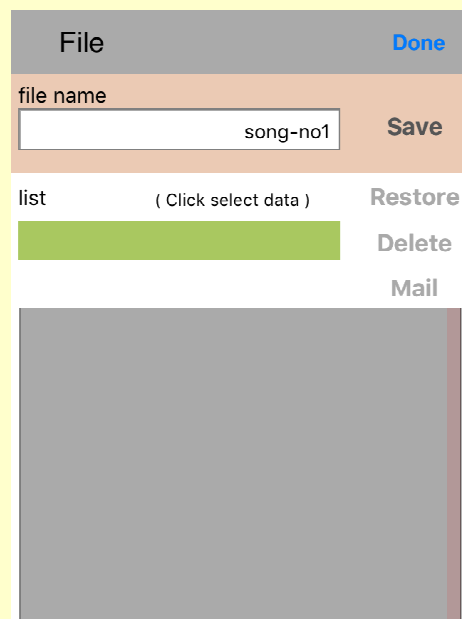
変換結果の保存と、再呼び出しができるようになりました。
また、メールで変換結果を送ることもできるようになりました。

9. 1 変換結果の保存

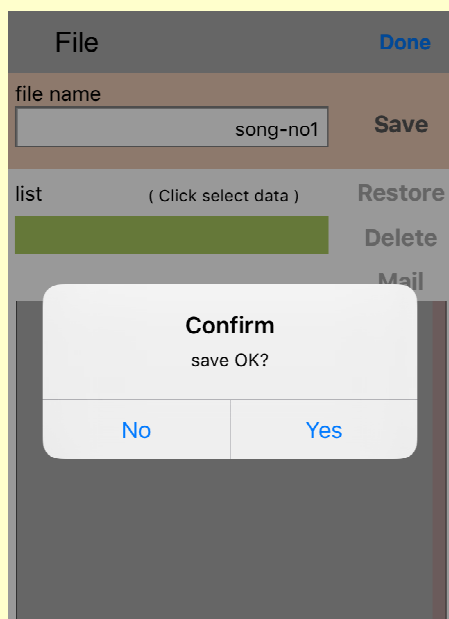
- ① **File** をタップする。(写真5参照)
- ② filename枠に日付、時刻が入力されているので、
変更したい場合はタップして「X」でクリアし、楽曲名などを入力する。(写真8-1、8-2参照)
- ③ **Save** をタップする。
- ④ 確認画面で **Yes** をタップする。(写真9参照)
- ⑤ ファイルリストの一番上に表示される。(カスタマイズデータも保存される)(写真10参照)



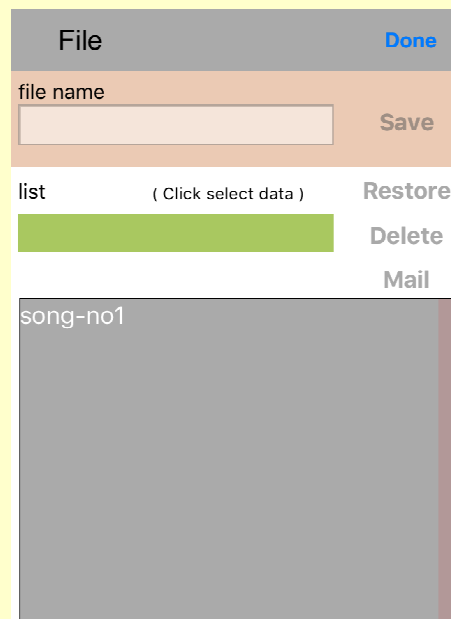
[写真8-1]



[写真8-2]



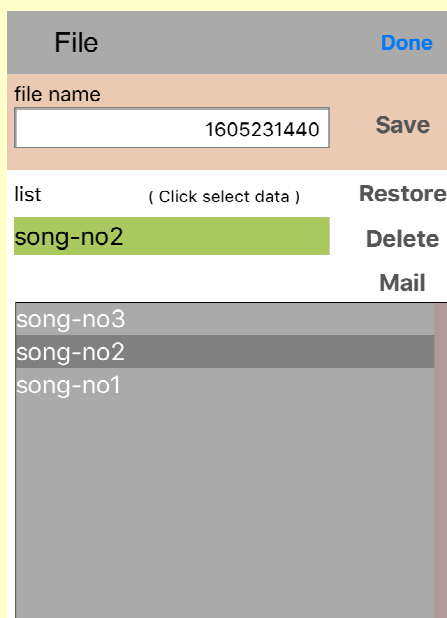
[写真9]



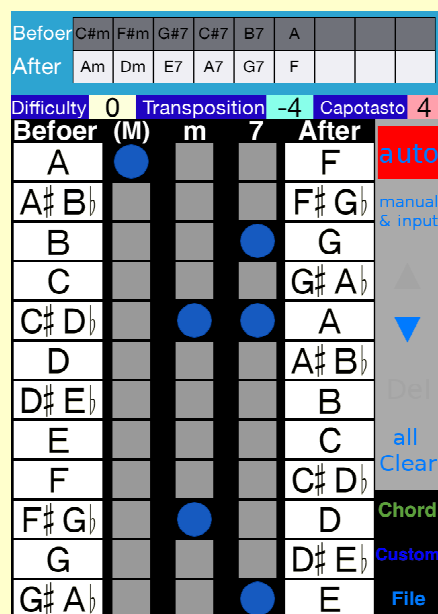
[写真10]

9. 2保存した変換結果を呼び出す

- ① **File** をタップする。(写真5参照)
- ② ファイルリストから呼び出したいファイルをタップする。(写真11参照)
- ③ **Restore** をタップする。
- ④ 楽曲の変換結果が表示される。(カスタマイズデータも再現される)(写真12参照)



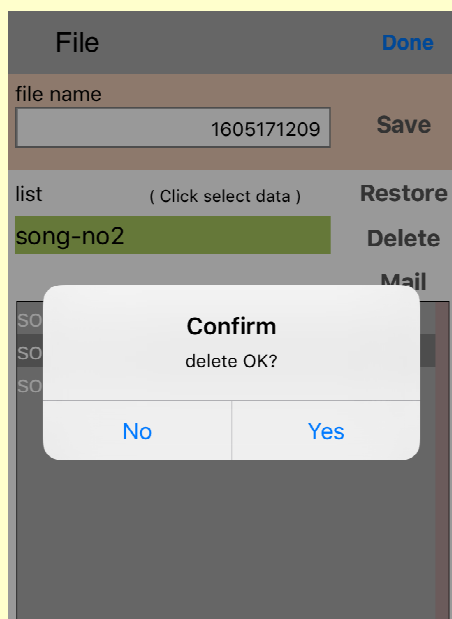
[写真11]



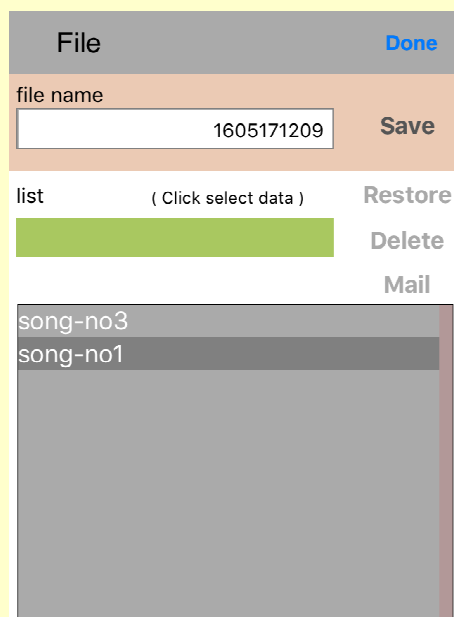
[写真12]

9. 3ファイルを削除する

- ① **File** をタップする。(写真5参照)
- ② ファイルリストから削除したいファイルをタップする。(写真11参照)
- ③ **Delete** をタップする。
- ④ 確認画面で **Yes** をタップする。(写真13参照)
- ⑤ ファイルリストから選択したファイルが削除される。(写真14参照)



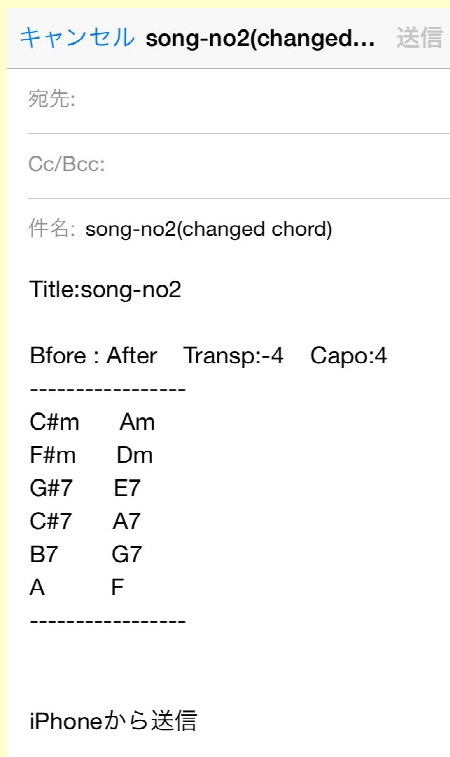
[写真13]



[写真14]

9. 4変換結果をMailする

- ① **File** をタップする。(写真5参照)
- ② ファイルリストからメールしたいファイルをタップする。(写真11参照)
- ③ **Mail** をタップする。
- ④ 宛先を入力して送信をタップする。
変換前のコードと変換後のコード、Trans、Capoの情報が送信される。(写真15参照)



[写真15]